

平成 27 年度森林計画の策定等に関する検討会 議事概要

1. 日時：平成 28 年 3 月 15 日（火）13：25～15：35
2. 場所：東北森林管理局 2 階 大会議室
3. 出席者：別紙のとおり
4. 議事概要

【主な意見】

- ヒバ林の復元の取組について、地域の関心が非常に高いものであり、是非進めてほしい。
- 森林共同施業団地について、これまでの取組の効果が見える化することにより取組が広がるのではないか。
- 木材の需要は多様である。それらにどのように対応していくのか多様な森林づくりについて検討してほしい。
- 森林を大切にする心の育成も重要。国有林でも森林を大切にする心の育成に関する取組を行ってほしい。
- 海岸防災林の復旧においては、現地に天然更新した実生も活かしていただきたい。
- 北上高地緑の回廊について、天然林だけでなく薪炭林や馬の放牧など森林利用があるエリアも残していいのではないか。
- 山村振興において、地域に安定的に事業があることが雇用の安定化につながる。主伐・再造林の着実な実行を、国有林が民有林に率先して取り組んでいただきたい。
- 松くい虫、ニホンジカについては東北地方におけるこれからの大きな課題。民有林と国有林で情報交換を密にし民国連携で効率的に進めていただきたい。
- 低コスト造林は重要課題。国有林が成功事例を作り、低コスト化を先導していただきたい。
- 木材の安定供給に期待したい。伐採後の再造林についても木材の安定供給において非常に重要。
- 国有林の自然観察教育林等を活用して子どもたちの森林環境教育に活用していけたら素晴らしいと思う。